

中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> <http://www.junya-susono.club/>

10年にわたる赤字運営と早く手を切りましょう

裾野市長が議会に令和3年度予算案を提示した2月15日、市民？世の中？に向けて裾野市の財政非常事態宣言が発出されました。「議員さんですよな？」と呼び止められ、「裾野市は財政破綻するんですか？」「税金が上がるって本当ですか？」と声をかけられる事態があちでもこちでも。議員もその時点で、なぜそのタイミングで発出する必要があったかなど詳細不明。それどころか令和3年度の予算自体も、予算はあっても執行（実施）しないのではないかといった疑念もある程でした。議員もそれぞれ振り回されてしまいました。しっかりとした審査を行うため「緊急質問」を全会一致で採用し実施、「宣言発出のタイミングの意図、市民への丁寧な説明」「令和3年度予算案の選択方法」「財政改善に向けた取り組み」が問われました。長年後回しにしていたツケが重くのしかかって来ています。ウーブンシティの効果に一発逆転を期待するのは他力本願で大きな賭け。改善に向け必死な行政努力が必要です。

緊急質問「財政非常事態宣言発出について」 質問者：中村じゅんや 答弁者：市長

■宣言出しちゃったけど対応に問題はなかった？

- ・状況を分かりやすく説明してくれるのか。
- ・行財政構造改革をやっていたではないか。
- ・これからどうなるのか、、、といった声。

A. 説明不足だった点をお詫びする。今後も議会はもちろん、市民の皆様に分かりやすく丁寧な説明を心がける。市長メッセージの動画配信複数回、広報紙職員による説明会等の方法で周知に努める。



～～ 以下、経緯の説明抜粋 ～～

リーマンショック以降、法人市民税の減少傾向だが市民サービス維持を念頭におき、不足財源は貯金を崩し対応してきた。いつか元に戻るだろうとの淡い期待が消えてはいなかった。整備してきた公共施設の老朽化が顕著となり、潤沢な貯金残高にも陰りが見えた為、2期目就任時に歳入歳出の均衡に必要な6億5千万円の歳出削減を行う改革に着手した。

結果に6億1千万円の削減を実現したが、コロナ感染が市民生活や事業活動に影響し、R3年度税収は約10億円減少する見込みとなり、苦渋の決断で約9億円分の事業削減を実施した。

詳細ネット配信中



「裾野市 非常事態」で検索すると見つかります。

■令和3年度予算を執行する気は、本当にある？

- ・非常事態で予算確保できるのか。
- ・予算は確保しても、執行できるのか。
- ・金がないから、やらない？、、、との声。

A. 健全化プロセスは、（軽）行財政構造改革→**財政非常事態宣言**→財政危機宣言→財政再生宣言（重）と段階を経て続く。まだ自力で回復が望める状態を指し、今が踏ん張りどころです。住民福祉の向上を蔑ろにする事なく、複合的な効果が期待できる公園整備など着手するほか、一部着手を見送った都市計画道路もその沿線の活用を進めらるような用途変更に取り組むなど知恵と工夫で、最終的には地域に貢献できる公共事業となるよう考えた予算編成で、効率的に執行していく。

■R4年度予算に向けて、具体的に何をします？

（宣言）第2弾の行財政構造改革の6つの視点

- ・総人件費の抑制
- ・市独自の事業全般の見直し
- ・公共施設のあり方を見直し
- ・大型公共事業の一時停止や先送り
- ・普通建設事業の総量の抑制
- ・各種補助金等を見直し、、、何のこと？

A. 市民で構成する行政改革推進委員会を設置してそれぞれの事業が目指す住民福祉向上に対して、その事業でなければならないか、今絶対に必要なのかなど客観的な助言を求める。市民から預かる税金を今どの分野に配分することが良いか判断したい。7月末までに取りまとめるが、市民の代表である議会議員との意見交換も実施して欲しい（了解）総人件費には当然、市長や職員の給与についても含まれ、見直し対象として検討する一つ。

3月定例会（R2年度補正予算、R3年度予算）からピックアップ

R3年度の予算は、コロナ感染による前年度の事業者の業績減少等の煽りを受けて前年度比約13億円の減収！表面に記載の通り、各部署に指示を出し、先送りが可能な事業など取捨選択をして、予算案を組んだとのこと。この先更なる工夫が求められますが、同時に職員の仕事の仕方もますます注視されることになるでしょう。失業した方、給与が減った方などいる中、企業等の福利厚生に頼ってきた公の福祉施策をどのように施策でフォローできるかも知恵の出どころ。事業やサービスの存続視点ではなく、それらが目的としていた住民の満足度を維持向上させるため、どんな方法が良いのかという点まで遡り考える必要があるでしょう。

●令和3年度の動き（主要事業と補正予算）



- ・小中学校GIGA（約7800万円）
児童生徒が1人1台端末の授業



- ・新斎場「麗峰の丘」7月から稼働

- ・御宿土地区画整備助成（98区画）
（約1億2千万円） R3年1月順次販売



- ・富二幼稚園閉園事業（100万円）
（R3年度が最後の年）



- ・平松踏切改良工事（約15百万円）
R3年～5年で拡幅歩道設置工事



- ・桃園平松線開通等駅西工事
（約8億7千万円）
マックスバリュ東海さんの改修後の開業に遅滞なく。



- ・水道料金基本料が一部免除に
（R3年4月、5月分）

<その他>

- ・コミュニティスクール始動
地域が学校運営に関わる仕組み
- ・市内でのキャッシュレス決済消費のポイント還元（5月）

各種活動のご紹介



- リバーフレンド富岡受賞報告
静岡県景観賞優秀賞

地域活動団体では珍しい入賞。受賞後に増えた訪問客のために一層力が入ってきています。



- 毎日自動で体温チェック

議会でお役を拝命したため、ほぼ毎日市役所に通っています。入口にある自動検温装置で体温チェック！いつどこで感染するか分かりませんので、マスク必須。できるだけ濃厚接触を避けましょう！免疫力をつけることも大切だとか。ウォーキング等で体力もつけましょうね！



- 春一番の強風に、立て看板がグラ～ユラ～。
証票も張り替えつつ、固定！
ご協力ありがとうございます

Facebookで日頃の活動を配信中です。

